



第28期 定時株主総会 招集ご通知

日時

2025年6月18日（水曜日）
午前10時

場所

パレスホテル東京
山吹（4階）
東京都千代田区丸の内1-1-1

- 末尾の「定時株主総会会場ご案内図」をご参照いただき、お間違えのないようにご注意ください。
- 本定時株主総会終了後、「経営近況報告会」を開催いたします。
本定時株主総会および経営近況報告会は、インターネットでライブ配信（生中継）いたします。

目次

株主の皆様へ	1
経営成績について	2
配当金について	3
第28期定時株主総会招集ご通知	6
（添付書類）	
事業報告	9
連結計算書類	28
株主総会参考書類	
第1号議案 取締役5名選任の件	30
第2号議案 監査役3名選任の件	35
第3号議案 補欠監査役1名選任の件	37

株主の皆様へ



代表取締役社長
朝倉 智也

平素より格別のご支援とご高配を賜り、心より御礼申し上げます。

当社は創業以来、「顧客中心主義」の理念のもと、豊富で偏りのない投資情報の提供と、良質かつ低コストの運用商品の提供に努め、投資家一人一人の最適な資産形成の実現を目指してまいりました。その活動は、「投資家主権の確立」という私たちの根本的な使命に基づくものであります。

近年、資産運用を巡る環境は大きく変化しております。政府の「資産運用立国」宣言の後押しのもと、2024年より新NISA制度がスタートし、失われた30年の中での「デフレ・円高」の状況から、「インフレ・円安」に転換し、加えて実質金利・実質賃金のマイナス環境が続くなか、実質的な資産価値の保全手段として、「貯蓄から投資」への流れが一層加速しております。

こうした環境下、子会社のSBIアセットマネジメント株式会社では、多様な資産クラスに対応する公募投信の設定を通じて、中長期の複利効果を活かす「成長投資型」に加え、定期的な分配を行う「成長＆分配型」ファンドを提供し、投資家の皆様の幅広いニーズにお応えしてまいりました。

また、旧モーニングスター株式会社の事業を承継したウエルスアドバイザー株式会社では、地域金融機関向けのアドバイザー支援アプリ「Wealth Advisor」の提供に加え、全国各地で「資産運用フェア」を開催し、地域社会における金融リテラシーの向上と資産運用教育の推進にも努めてまいりました。これらの活動を通じ、当社グループは「地方創生」にも積極的に貢献しております。

2025年3月期の業績につきましては、こうした取り組みの成果として、SBIアセットマネジメントが運用するファンドの残高が着実に拡大し、ウエルスアドバイザーによる資産運用フェアの開催回数も大幅に増加した結果、売上高は13期連続で増収、6期連続で過去最高を更新し、利益につきましては全ての項目で増益を達成しました。特に、経常利益は16期連続の増益、14期連続の過去最高益を更新するなど、堅調な成長を遂げております。

これを受け、株主の皆様への利益還元を重視する方針のもと、2025年3月期の年間配当は1株当たり22円（前期比50銭増）とし、16期連続の増配を実現いたしました。

株主優待制度につきましても、1単元（100株）以上保有の株主の皆様には、「株式新聞Web版」1年分の無料購読クーポン進呈に加え、暗号資産XRPの進呈についても継続実施とし、500株以上保有や1年以上の継続保有に応じた優待内容の拡充も行い、今回で累計10回目を迎えました。株主の皆様により一層の価値をご提供できるよう今後も努めてまいります。

当社はこれからも、「投資家主権の確立」という揺るぎない使命のもと、最適な資産形成の実現に向けた努力を惜しまず、企業価値の一層の向上に努めてまいります。

引き続き、株主の皆様には変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2025年5月

経営成績について

- 2025年3月期の連結売上高は、13期連続の増収、6期連続で過去最高の売上となる11,568百万円となりました。
- 連結営業利益は2,269百万円となり、過去最高益を更新しました。
- 連結経常利益は2,565百万円となり、16期連続の増益、14期連続の過去最高益となりました。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は1,646百万円となりました。米国モーニングスター・インクへの「モーニングスター」ブランドの返還対価8,000百万円が計上された2023年3月期を除くと過去最高益となります。

連結経常利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益の推移

(単位：百万円)



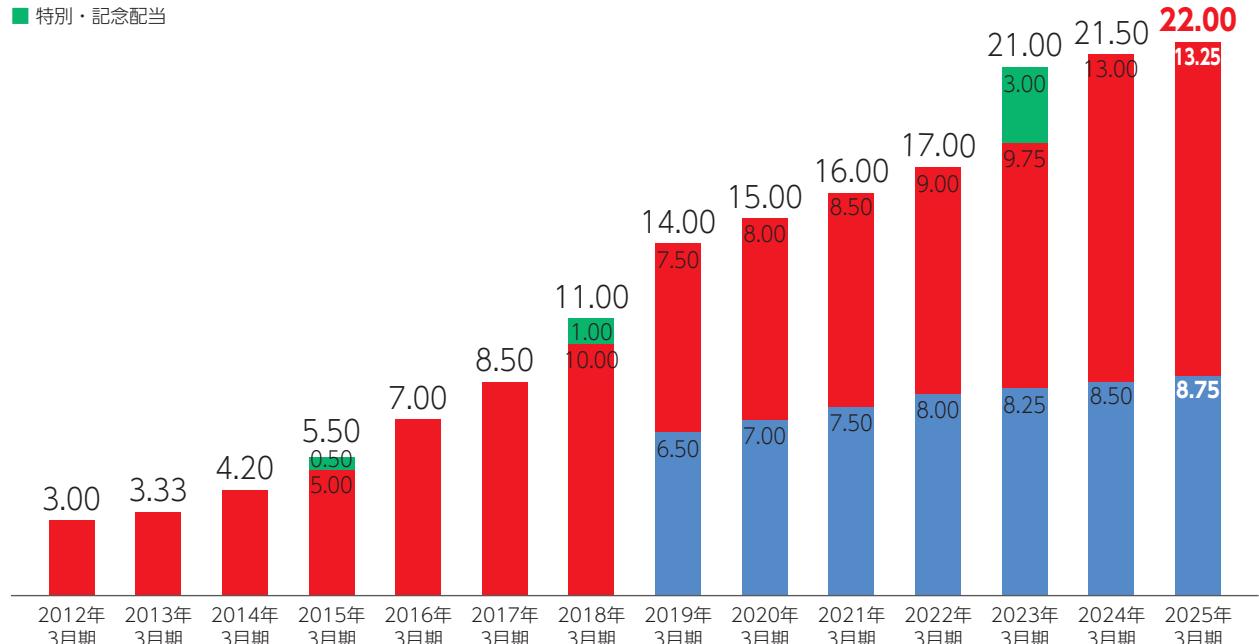
配当金について

- 2025年3月期の配当は、2024年9月30日を基準日とする中間配当を1株につき8円75銭実施し、2025年3月31日を基準日とする期末配当を1株につき13円25銭といたします。合計の年間配当は22円00銭となります。
前連結会計年度から50銭（約2.3%）の増配となります。
- これにより当社の株主配当金は16期連続の増配となりました。

1株当たり配当金額の推移

(単位：円)

- 期末配当
- 中間配当
- 特別・記念配当



※2013年7月1日に普通株式1株につき300株の割合で株式分割を行っております。

2013年3月期以前の各事業年度は、比較のため、1株当たり期末配当金額に300分の1を乗じた金額を記載しております。

2015年3月期の記念配当は上場15周年記念配当、2018年3月期の記念配当は設立20周年記念配当、2023年3月期の特別・記念配当はブランド売却による特別利益計上と設立25周年記念の特別・記念配当であります。

(増配の状況について)

- 経常利益の連続増益ならびに増配を16期以上続ける企業は全上場企業4,063社（2025年4月14日時点 上場ETF、REITを除く）の中で、当社を含めてわずか3社です（当社調べ）。
今後も、株主還元の増加を含め、株主価値の向上に努めてまいります。

連続経常利益の増益・増配を16期以上続いている企業は 全上場企業4,063社の中で、当社を含めわずか3社

当社は過去16年の利益成長率およびROA（総資本に対する利益）成長率の双方とも高い

銘柄名	コード	経常利益の増益 ・増配の回数	経常利益の成長率 (16年間の年率)	ROA成長率 (16年間の年率)
SBIグローバルアセットマネジメント	4765	16期	12.2%	6.3%
バン・パシフィック・インターナショナル ホールディングス	7532	22期	15.1%	2.2%
イー・ギャランティ	8771	17期	16.0%	2.2%

※ 上場企業数は2025年4月14日現在（上場ETF、REITを除く）

※ SBIGAMの経常利益・ROAは25年3月期実績ベース

※ バン・パシフィックの経常利益は25年6月期会社予想、ROAは24年6月期実績ベース

※ イー・ギャランティの経常利益は25年3月期会社予想、ROAは24年3月期実績ベース

(株主様への利益還元について)

■当社では、株主様への利益還元策として、配当金の他、株主優待も実施しております。

当社の2025年3月期の総還元率(配当 & 株主優待):85.3%

増配は16期連続、XRP進呈は10回目、株式新聞は1年間無料

(1)	配当金 (中間配当 & 期末配当)	22円(1株当たり) 1単元(100株):2,200円
(2)	株主優待 ① 暗号資産(XRP) 1単元(100株)以上5単元(500株)未満	XRP: 2,500円相当
(3)	株主優待 ② 株式新聞WEB版の1年間の 無料購読クーポン	1年間の無料購読クーポン 1ヶ月4,400円(税込み) ×12ヶ月 =52,800円
	株主への総還元率	85.3% 合計金額: 57,500円 1単元(100株): 67,400円 (株価は2025年3月末の終値)



第28期定時株主総会招集ご通知

拝啓 曰頃より格別のご支援を賜り、厚く御礼申しあげます。

さて、当社第28期定時株主総会を下記により開催いたしますので、ご通知申しあげます。

なお、当日ご出席願えない場合は、以下のいずれかの方法によって議決権行使することができますので、お手数ながら後述の株主総会参考書類をご検討のうえ、**2025年6月17日（火曜日）午後5時45分**までに、議決権行使してくださいますようお願い申しあげます。

【郵送による議決権の行使】

議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、上記の行使期限までに到着するようご返送ください。

【インターネットによる議決権の行使】

後述の「インターネットによる議決権の行使のご案内」をご参照のうえ、上記の行使期限までに議決権行使してください。

敬 貞

記

1 日 時	2025年6月18日（水曜日）午前10時	
2 場 所	東京都千代田区丸の内1-1-1 パレスホテル東京 山吹（4階） 末尾の「定時株主総会会場ご案内図」をご参照いただき、お間違えのないようにご注意ください。	
3 目的事項	報告事項	1. 第28期（2024年4月1日から2025年3月31日まで） 事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件 2. 第28期（2024年4月1日から2025年3月31日まで） 計算書類報告の件
	決議事項	第1号議案 取締役5名選任の件 第2号議案 監査役3名選任の件 第3号議案 補欠監査役1名選任の件

- ご返送いただいた議決権行使書において、各議案につき賛否の表示をされない場合は、賛の表示があったものとして取り扱います。
- 当日ご出席の際は、お手数ながら議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申しあげます。
- 当日の議事進行は日本語で行います。通訳者（手話通訳者を含みます）の同席をご希望の場合は、当日受付にてお申し出願います。
- 代理人により議決権行使される場合は、議決権を有する他の株主の方1名を代理人として株主総会にご出席いただけます。ただし、代理権を証明する書面として、委任状および委任者の議決権行使書用紙のご提出が必要となります。
- 株主総会参考書類ならびに事業報告、連結計算書類および計算書類に修正が生じた場合には、次頁の各ウェブサイトに修正内容を掲載させていただきます。
- 株主総会当日までの状況により、会場や開始時刻その他の総会運営に変更が生じる場合がございます。変更後の内容は後述の各ウェブサイトに掲載させていただきます。
- 本総会の決議結果につきましては、インターネット上の当社ウェブサイトに掲載させていただきます。

当社ウェブサイト (<https://www.sbiglobalam.co.jp/>)

電子提供措置について

本株主総会の招集に際しては、株主総会参考書類等の内容である情報（電子提供措置事項）について電子提供措置をとっております。下記ウェブサイトのいずれかにアクセスのうえ、掲載の「株主総会招集ご通知」をご確認くださいますようお願い申しあげます。

（書面交付請求をいたしていない株主様へお送りしたサマリー版には一部を除き電子提供措置事項は含まれておりません）

【当社ウェブサイト】

<https://www.sbiglobalam.co.jp/ir/meeting/index.html>

（アクセス後、メニューより「株主還元・株主優待」「株主総会」の順にお進みください。）



【東京証券取引所ウェブサイト（東証上場会社情報サービス）】

<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>

（アクセス後、「銘柄名（会社名）」に「SBIグローバルアセットマネジメント」または「コード」に当社証券コード「4765」を入力・検索し、「基本情報」「縦覧書類／PR情報」を順に選択して、「縦覧書類」にある「株主総会招集通知／株主総会資料」欄へお進みください。）

※電子提供措置事項に修正が生じた場合は、インターネット上の当社ウェブサイト及び東証ウェブサイトにその旨、修正前の事項及び修正後の事項を掲載させていただきます。

※電子提供措置事項のうち、書面交付請求をいただいた株主様に対して交付する書面には、法令及び当社定款第15条の規定に基づき、次の事項を記載しております。

- ・株主総会参考書類 第1号議案 取締役5名選任の件、第2号議案監査役3名選任の件、第3号議案補欠監査役1名選任の件、各注記
- ・事業報告の『企業集団の現況』のうち「従業員の状況」、「主要な事業内容」、「主要な営業所」、「主要な借入先の状況」、「直前3事業年度の財産および損益の状況」、「対処すべき課題」、「株式の状況」、「役員に対して交付した株式の数及び交付を受けた者の人数」、「新株予約権等の状況」、「会計監査人の状況」、「業務の適正を確保するための体制および当該体制の運用状況」、「会社の支配に関する基本方針」、「剰余金の配当等の決定に関する方針」、「連結計算書類」のうち「連結株主資本等変動計算書」、「連結注記表」および「計算書類」、「連結計算書類に係わる会計監査報告」、「計算書類に係わる会計監査報告」、「監査役会の監査報告」

●その他 当社の詳しい決算内容、業績その他については、 当社ウェブサイトの「決算情報」もご参照ください。

【<https://www.sbiglobalam.co.jp/ir/financial/statements.html>】



株主総会および経営近況報告会をインターネットでライブ配信（生中継）いたします。

「株主総会」「経営近況報告会」を、ご来場いただかなくてもリアルタイムで御覧いただけますので、ご利用ください。

本定時株主総会終了後、同会場にて「経営近況報告会」を開催いたします。

「経営近況報告会」は、「株主総会」に引き続き、ライブ配信いたします。

「経営近況報告会」は本定時株主総会とは別に、代表取締役朝倉智也より、当社グループの事業内容、最近の経営状況、今後の展望などについてご説明させていただくものです。

株主総会および経営近況報告会のインターネットでのライブ配信については、別紙「株主総会および経営近況報告会のライブ配信のご案内」をご参照のうえ、ご利用ください。

なお、株主総会のライブ配信では、議決権行使はできませんので、事前にインターネットないし郵送による議決権行使をお願いいたします。



インターネットによる議決権行使のご案内

書面による議決権行使に代えて「議決権行使ウェブサイト」にて議決権の行使が可能です。

QRコードを読み取る方法

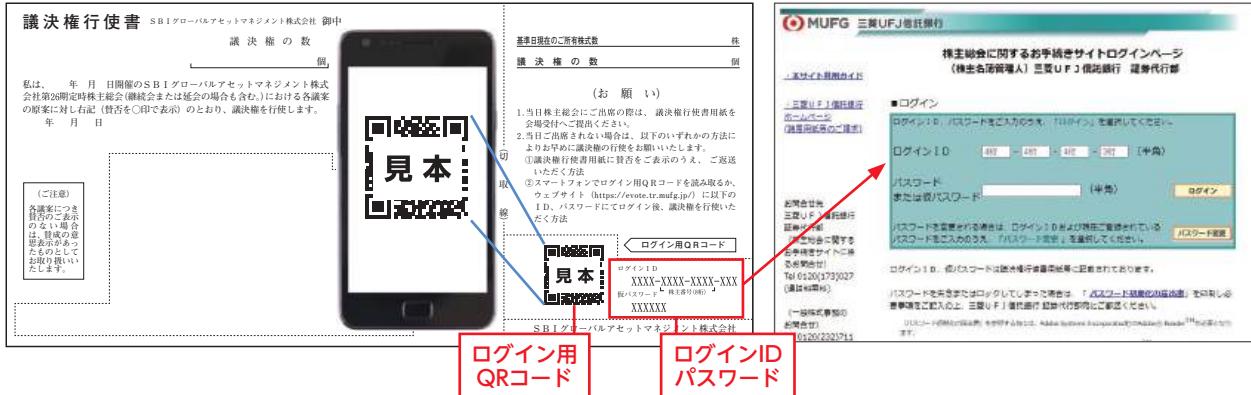
ログインID・仮パスワードを入力することなく、議決権行使ウェブサイトにログインすることができます。

議決権行使書用紙右側に記載のログイン用QRコードを読み込んだ後、画面の案内に従ってご入力ください。

ログインID・仮パスワードを入力する方法

議決権行使
ウェブサイト <https://evote.tr.mufg.jp/>

議決権行使書用紙右側に記載の議決権行使コードおよび
パスワードにてログインした後、画面の案内に従ってご入力ください。



- 行使期限は2025年6月17日（火曜日）午後5時45分までとなります。
- 書面とインターネットによる議決権行使を重複して行使された場合は、インターネットによるものに有効とします。
- インターネットにより複数回行使された場合は、最後に行われたものを有効とします。
- パスワード（株主様が変更されたものを含みます。）は今回の総会のみ有効です。次回の株主総会時は新たに発行いたします。
- インターネット接続に係る費用は株主様のご負担となります。

（ご注意）

- ・パスワードは、ご投票される方がご本人であることを確認する手段です。弊社が電話等でパスワードをお尋ねすることはありません。
- ・パスワードは一定回数以上間違えるとロックされ使用できなくなります。ロックされた場合、画面の案内に従ってお手続きください。
- ・議決権行使ウェブサイトは一般的なインターネット接続機器にて動作確認を行っておりますが、ご利用の機器によってはご利用いただけない場合があります。
- ・ご不明点は、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行 証券代行部までお問い合わせください。

三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部（ヘルプデスク）

（1）議決権行使ウェブサイトの操作方法等に関する専用お問い合わせ先

フリーダイヤル **0120-173-027** (9:00~21:00)

（2）上記以外の株式事務に関するお問い合わせ先

フリーダイヤル **0120-232-711** (平日 9:00~17:00)

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

1 企業集団の現況

(1) 事業の経過および成果

当連結会計年度における世界経済は、多くの主要国・地域において特徴的な金融政策の転換が行われた中、米国においては市場でのソフトランディングを実現し株式市場を中心に比較的堅調な推移を示した一方、欧州においては構造的、地政学的な課題が継続し、中国では不動産セクターでの調整等の不安材料が顕在化するなど、多くの不安定な要素を内包しつつも比較的穏やかな推移を示しておりましたが、2025年1月の米国での新政権発足以降は、トランプ新大統領が矢継ぎ早に打ち出す各種政策、特に関税関連の政策が各國・地域の市場を揺るがすなど、年度末にかけて大きな混乱の中にありました。その中で、当社グループの事業に関連性の高い投資信託市場は、2024年1月から開始された「新NISA」制度が一般にも浸透し、資金流入が続くという追い風もある一方、運用会社間の競争は激化し、平均信託報酬率は低下傾向にあるなど、構造変化が見られた1年ともなりました。

このような経営環境下で、当社グループのアセットマネジメント事業は、公募の投資信託の当連結会計年度末での運用残高が、前連結会計年度末の5.9兆円から13.1%増加の6.7兆円となりました。これは、新NISAに対応し、「成長」投資を中心とした様々な資産クラスを揃えたインデックスファンドが安定した資金流入により増加した他、高配当型に代表される「成長」と「分配」の両立を目指す特徴を持つファンドを業界に先駆け、数多く投入した結果によるものです。加えて、これらの商品群がいずれも当社グループの理念である「顧客中心主義」に則り、良質であることはもちろん、同種同等のファンドと比較して最低水準の信託報酬で提供している結果でもあると考えております。既存の商品につきましても、2023年6月に定めました当社のプロダクトガバナンス方針に基づき、コストの減額や、受益者目線に立った商品ラインナップの再構築を行うなど、年度を通じて「顧客中心主義」に基づき積極的な施策を実施してまいりました。

また、主として地域金融機関の有価証券運用の高度化と多様化を支援する私募の投資信託の運用残高は、当連結会計年度末には2.4兆円となりました。これは、2021年3月末と比較して約25%増加しており、コロナ明け後の欧米金利の上昇、昨年度の国内金利の上昇と、債券の受託が多い私募投資信託においては厳しい環境の中であっても、当社の顧客ニーズに即した営業活動が結実したものです。この結果、アセットマネジメント事業の当連結会計年度の売上高は前年比で18.8%増の9,751百万円となりました。

ファイナンシャル・サービス事業では、子会社のウエルスアドバイザー株式会社が提供する「Wealth Advisor」端末を中心とした大手及び地域金融機関とのリレーションを基盤として、大手金融機関や、有力地方銀行とともに資産運用セミナーを開催し、その件数は前連結会計年度と比較し3.8倍となる19件に増加するなど、この面でも新NISAを端緒として高まる我が国における資産運用ニーズへの「顧客中心主義」の観点からのアプローチを続けております。また、2024年12月には第2回となる「新NISA成長投資枠WA優秀ファンド賞」を表彰し、情報提供を通じた投資家への貢献も継続しております。これらにより、当連結会計年度のファイナンシャル・サービス事業の売上高は1,817百万円となりました。

以上の結果、当連結会計年度の当社連結業績は、売上高が前連結会計年度の10,137百万円から1,431百万円(14.1%)の増収となる11,568百万円となり、過去最高を記録いたしました。

また、前連結会計年度と比べ、売上原価が953百万円増加し、販売費及び一般管理費が319百万円増加した結果、当連結会計年度の営業利益は、前連結会計年度の2,111百万円から157百万円（7.5%）の増益となる2,269百万円となり、2期連続の増益、および過去最高益を更新しました。

営業外損益は、前連結会計年度と比べ、営業外収益が109百万円、営業外費用は7百万円それぞれ減少した結果、当連結会計年度の経常利益は、前連結会計年度の2,510百万円から55百万円（2.2%）の増益となる2,565百万円となり、16期連続の増益、および14期連続の過去最高益を更新しました。

この結果、当連結会計年度における親会社株主に帰属する当期純利益は、前連結会計年度の1,589百万円から57百万円（3.6%）の増益となる1,646百万円となり、「モーニングスター」ブランドの返還対価8,000百万円が計上された2023年3月期を除くと過去最高益となりました。

売上高

10,137百万円 ▶ 11,568百万円 前期比 14.1%増

営業利益

2,111百万円 ▶ 2,269百万円 前期比 7.5%増

経常利益

2,510百万円 ▶ 2,565百万円 前期比 2.2%増

親会社株主に帰属する当期純利益

1,589百万円 ▶ 1,646百万円 前期比 3.6%増

＜当社のROE＞

（単位：百万円）		＜利益率＞	＜資産回転率＞	＜レバレッジ＞	2025年3月期 当社実績ROE
当期純利益	1,646	×	売上高 11,568	×	2025年3月期 当社実績ROE
売上高	11,568	×	総資産 18,258	×	= 10.6%
（売上高純利益率）	（売上高純利益率）	（総資産回転率）	（財務レバレッジ）	（財務レバレッジ）	（財務レバレッジ）
14.2%		0.63回	1.17倍		当社の 自己資本比率 83.5%

※当社の自己資本は2024年3月期と2025年3月期の平均

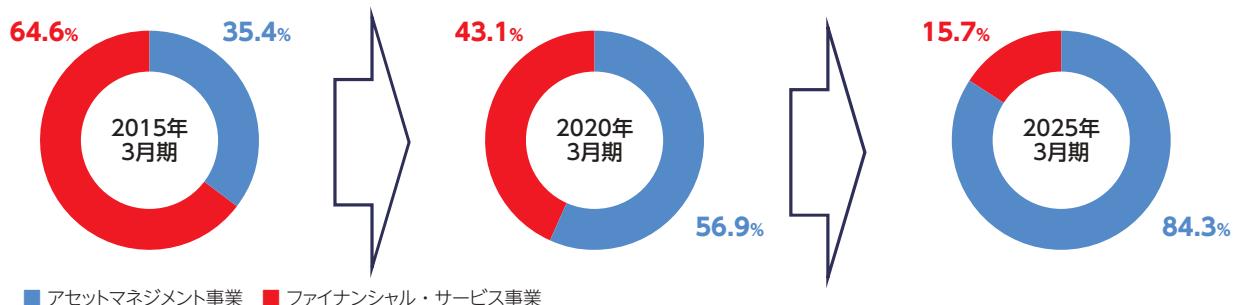
（2）サービス別売上およびセグメント利益

	2024年3月期			2025年3月期		
	アセット マネジメント事業	ファイナンシャル ・サービス事業	連結計算書類 計上額	アセット マネジメント事業	ファイナンシャル ・サービス事業	連結計算書類 計上額
売上高	8,210	1,927	10,137	9,751	1,817	11,568
セグメント利益	1,766	344	2,111	2,125	143	2,269

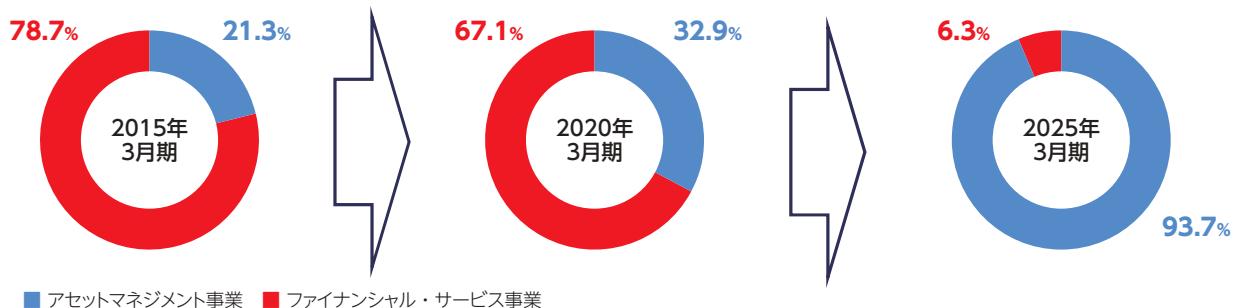
セグメント別売上および利益

事業環境の変化に応じて事業ポートフォリオを再編し、企業価値を拡大

・セグメント別売上の構成比の変化



・セグメント別利益の構成比の変化



当社グループの運用残高の推移

運用残高は、10年で約50倍の増加

(単位:億円)

80,000

70,000

60,000

50,000

40,000

30,000

20,000

10,000

0

■ 公募アクティブ ■ 公募インデックス ■ 私募/一任/助言/他 ■ 海外運用
(Carret)

2015年3月 2016年3月 2017年3月 2018年3月 2019年3月 2020年3月 2021年3月 2022年3月 2023年3月 2024年3月 2025年3月

1,347

38.8%増

1,869

3.5%増

1,934

69.2%増

3,273

94.8%増

6,377

2.7倍

17,301

65.8%増

28,691

28.9%増

36,976

26.9%増

4,043

4.062

46,928

26.2%増

28,453

26.9%増

59,224

13.1%増

4,758

+2.5%

67,008

4,874

26,650

-2.4%

27,327

23,465

+30.7%

29,705

5,779

投信業界全体とSBIアセットマネジメントの 公募投信の運用残高の伸び

国内公募追加型株式投信
(除くETF)の残高

(単位:兆円)



<SBIアセットマネジメントの
公募投信の運用残高>

(単位:億円)



出所:一般社団法人投資信託協会のデータ

全資産クラスで業界最低水準の低コストファンドを提供

主要な「成長投資型」の低コスト商品

投資対象 資産	ファンド名	信託報酬等 税込(%)
世界株	SBI・全世界株式インデックス・ファンド (雪だるま(全世界株式))	0.1022
日本株	SBI・iシェアーズ・日経225インデックス・ファンド	0.1133
日本株	SBI・iシェアーズ・TOPIXインデックス・ファンド	0.1133
米国株	SBI・V・S&P500インデックス・ファンド	0.0938
米国株	SBI・V・全米株式インデックス・ファンド	0.0938
米国 小型株	SBI・V・米国小型株式インデックス・ファンド	0.1138
先進国株	SBI・先進国株式インデックス・ファンド (雪だるま(先進国株式))	0.0982
先進国株 (除く米国)	SBI・V・先進国株式(除く米国)インデックス・ファンド	0.0938
世界小型株 (除く米国)	SBI・V・世界小型株式(除く米国)インデックス・ファンド	0.1438
新興国株	SBI・V・新興国株式インデックス・ファンド	0.1338
新興国株 (グローバル サウス)	EXE-i グローバルサウス株式ファンド	0.5820
中国株	SBI・中国A株インデックス・ファンド (雪だるま(中国A株))	0.4138
インド株	SBI・フランクリン・テンブルトン・インド株式 インデックス・ファンド	0.2538
サウジ アラビア株	SBIサウジアラビア株式インデックス・ファンド	0.1925

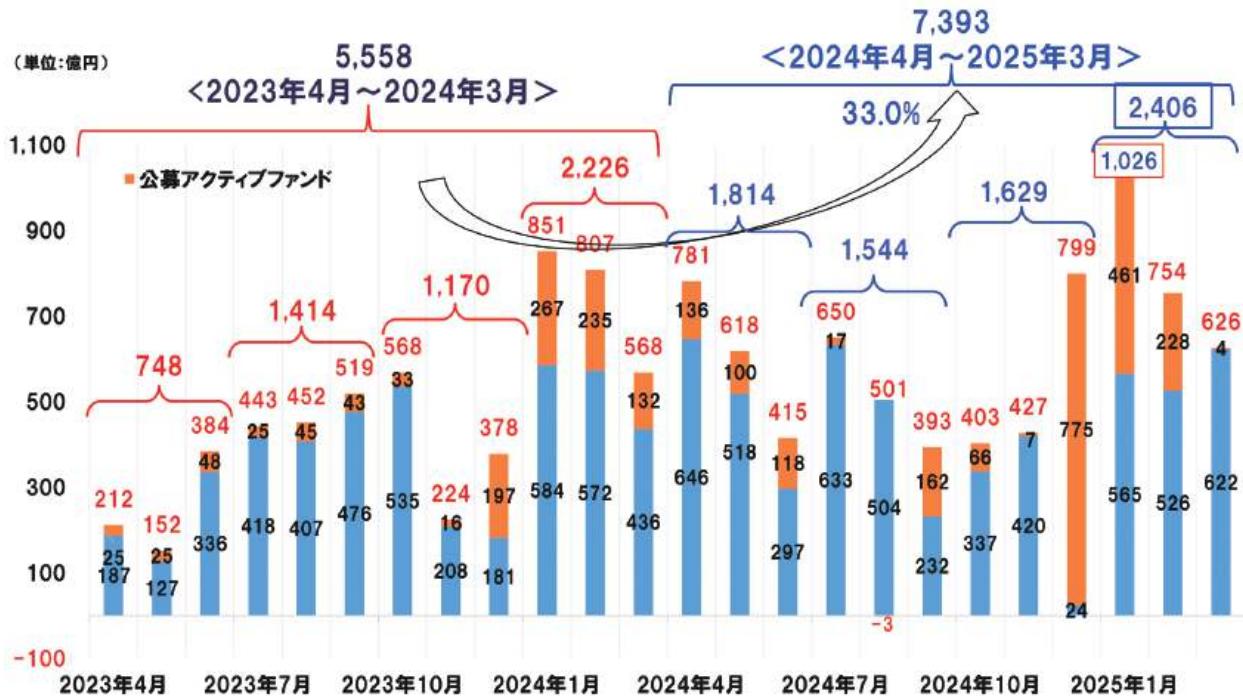
主要な「成長 & 分配投資型」の低コスト商品

投資対象 資産	ファンド名	信託報酬等 税込み(%)	決算月
日本株	SBI 日本高配当株式(分配)ファンド (年4回決算型)	0.0990	1月、4月、 7月、10月
米国株	SBI・V・米国高配当株式インデックス・ ファンド(年4回決算型)	0.1238	2月、5月、 8月、11月
米国株	SBI・V・米国増配株式インデックス・ ファンド(年4回決算型)	0.1138	2月、5月、 8月、11月
米国株	SBI・S・米国高配当株式ファンド (年4回決算型)	0.1238	3月、6月、 9月、12月
欧州株	SBI欧州高配当株式(分配)ファンド (年4回決算型)	0.0990	3月、6月、 9月、12月
全世界株	SBI 全世界高配当株式ファンド (年4回決算型)	0.0550	2月、5月、 8月、11月
米国債券	SBI・iシェアーズ・米国総合債券インデッ クス・ファンド(年4回決算型)	0.0938	3月、6月、 9月、12月
米国社債	SBI・iシェアーズ・米国投資適格社債 (1~5年)インデックス・ ファンド(年4回決算型)	0.1038	3月、6月、 9月、12月
全世界債	SBI・iシェアーズ・全世界債券インデック ス・ファンド(年4回決算型)	0.1158	3月、6月、 9月、12月
日本REIT	SBI・J-REIT(分配)ファンド (年4回決算型)	0.0990	2月、5月、 8月、11月

SBIアセットマネジメントの公募投信の純資金流入額

純資金流入額は前年同期比で33.0%増加

2025年1月の純資金流入額は単月で過去最高



「投資家主権の確立」に向け、投資家の多様なニーズに対応

SBIアセットマネジメントの主要な資産クラス <株式(グロース・バリュー)、債券、オルタナティブ>



投資家自身で「毎月分配」のポートフォリオを構築可能

〈3月・6月・9月・12月〉

SBI・シェアーズ・全世界債券 インデックス・ファンド

SBI・シェアーズ・米国総合債券 インデックス・ファンド

SBI・シェアーズ・米国 投資適格社債(1-5年) インデックス・ファンド

SBI・iシェアーズ・
米国ハイイールド債券
インデックス・ファンド

〈1月・4月・7月・10月〉

SBI 日本高配当株式(分配)ファンド SBI 日本国債(分配)ファンド

(3月・6月・9月・12月)

＜資産の分散＞

一一

世界債券
米国債券

〈2月・5月・8月・11月〉

SBI 全世界高配当 株式ファンド

SBI・V・米国高配当株式 インデックス・ファンド

SBI・V・米国増配株式 インデックス・ファンド

SBI・SPDR・S&P500 高配当株式 インデックス・ファンド

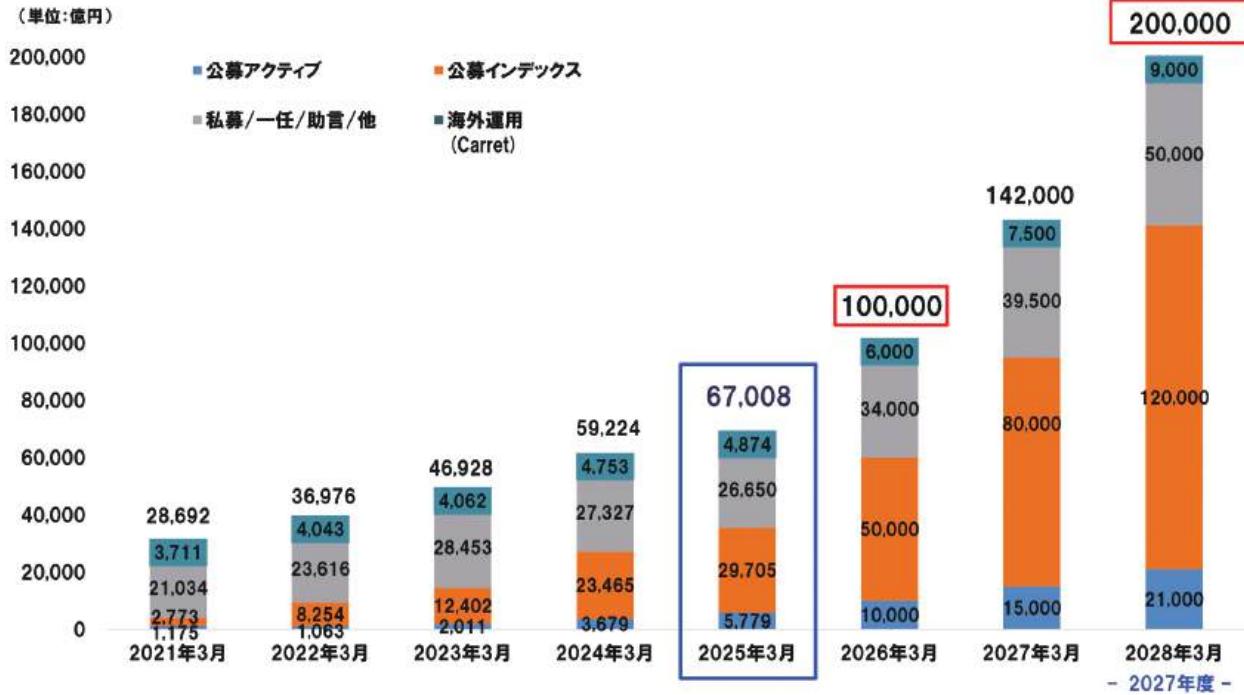
SBI・J-REIT(分配)ファンド

＜分配金受取の分散＞

SCHD 米国株		SSHLD 米国株		SCHD 米国株		SCHD 米国株	
J-REIT	世界債券	J-REIT	世界債券	J-REIT	世界債券	J-REIT	世界債券
日本国債	米国株	米国債	日本国債	米国株	米国債	日本国債	米国株
日本株	世界株	欧州株	日本株	世界株	欧州株	日本株	世界株

※全て年4回決算型(ファンド名の(年4回決算型)は省略)

当社グループの運用残高は3年後に20兆円突破を目指す



ウエルスアドバイザー(旧モーニングスター)による 地域金融機関の預かり資産ビジネスのサポート

「対面販売支援」



地域金融機関における導入状況

・地方銀行	74行
・地銀系列/地場証券	13社
・信用金庫	54社
・労働金庫	14社
・信組/労組	2組合
合計: 156社 (全527社に提供)	



※2025/3/31時点
地域金融機関＝地方銀行・地方銀行系列証券/地場証券・信用金庫・労働金庫・信用組合・労働組合

「オンライン関連」



地域金融機関における導入状況

・地方銀行	44行
・地銀系列/地場証券	6社
・信用金庫	24社
・労働金庫	1社
合計: 75社 (全128社に提供)	



※2025/3/31時点

「資産運用イベント」

セミナー ブース



対面orオンライン

地域における実施状況

過去10年間
(2014年4月～2025年3月)
における資産運用セミナーは
233回
(オンライン開催含む)

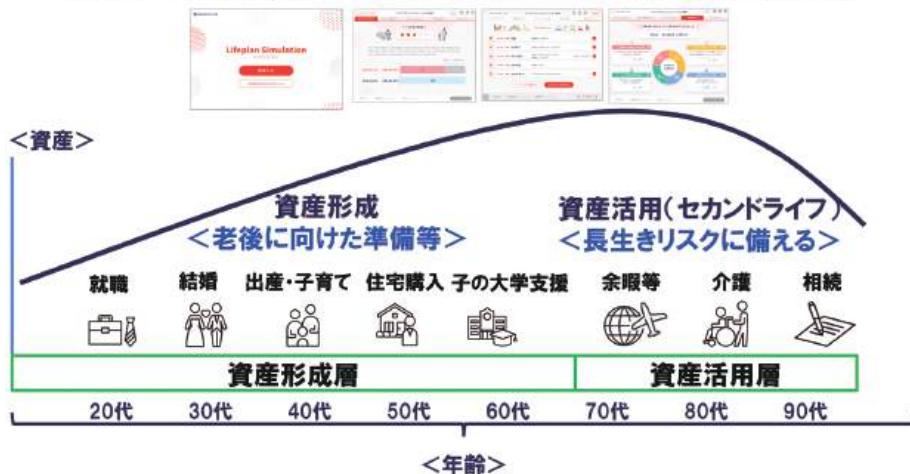


※2025/3/31時点

■ 既開催地域
■ 今後の開催決定地域

投資アドバイザーが活用するお客様向けのライフプランツール

ビッグデータを活用したライフプランシミュレーションでお客様の資産を管理



対面金融機関のデジタル & AIを活用した お客様とのコミュニケーションをサポート

預金と投信・保険の資産の把握 AIを活用し、今後の資産配分のアドバイス



デジタルの利便性を高めることで、お客様とのコミュニケーションが促進され、
その結果、預金の獲得および預かり資産の拡大につながる

(3) 設備投資の状況

当連結会計年度中に実施いたしました当社グループの設備投資の総額は154百万円であります。主な内訳は、アセットマネジメント事業に係る設備工事及び什器備品の取得、ファイナンシャル・サービス事業に関わるソフトウェアを中心とした提供サービスの品質向上、情報データベースの拡充のためのシステム投資であります。

(4) 資金調達の状況

該当事項はありません。

(5) 重要な組織再編の状況

該当事項はありません。

(6) 重要な親会社および子会社の状況

① 親会社の状況

会社名	資本金 (百万円)	当社に対する 議決権比率 (%)	当社との関係
SBIアセットマネジメントグループ株式会社	100	52.7	親会社、主要株主である筆頭株主 SBIホールディングス株式会社の 100%子会社であります。
SBIホールディングス株式会社	181,924	(52.7)	親会社 事務所および不動産設備の転貸借、 人件費の立替、役員の兼任等

(注) 当社に対する議決権比率欄の()内は、間接被所有割合であります。

親会社であるSBIホールディングス株式会社との取引については、他の取引先と同様の基本条件、公正な市場価格によって行うとの基本方針をもって、同社との協議を行いその内容を決定しており、少数株主の利益を害することのないように取引を行っております。
当社取締役会も同様の理由で、SBIホールディングス株式会社との取引は、当社の利益を害するものではないと判断しております。

② 子会社の状況 (2025年3月31日現在)



2 会社の役員の状況

(1) 取締役および監査役の状況 (2025年3月31日現在)

会社における地位	氏名	担当
代表取締役社長	朝 倉 智 也	経営全般
取締役	北 尾 吉 孝	—
社外取締役	大 鶴 基 成	—
社外取締役	ビリー・ウェード・ワイルダー	—
社外取締役	山 澤 光 太 郎	—
社外取締役	堀 江 明 弘	—

会社における地位	氏名	担当
常勤監査役	後 藤 淳 夫	常勤監査
社外監査役	長 野 和 郎	—
社外監査役	小 竹 正 信	—

(注) 1. 当社は、補欠監査役に神山敏之氏を選任しております。
 2. 取締役大鶴基成氏、取締役ビリー・ウェード・ワイルダー氏、取締役山澤光太郎氏および取締役堀江明弘氏は社外取締役であります。監査役長野和郎氏および監査役小竹正信氏は社外監査役であります。
 3. 当社は、取締役大鶴基成氏、取締役ビリー・ウェード・ワイルダー氏、取締役山澤光太郎氏、取締役堀江明弘氏、監査役長野和郎氏および監査役小竹正信氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員に指定し、同取引所に届け出ております。
 4. 当事業年度中の取締役および監査役の異動はありません。
 5. 当社は、保険会社との間で会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を締結しております、当社全取締役および全監査役を被保険者とし、被保険者の損害賠償請求による損害等を当該保険契約によって填補することとしています。

(2) 取締役および監査役の報酬等

① 役員報酬等の内容の決定に関する方針等

取締役の個人別の報酬等の内容にかかる決定方針の内容は次のとおりです。

- 取締役の報酬は、固定報酬である基本報酬のほか、会社業績等に基づく賞与で構成されており、株主総会で承認された報酬総額の範囲内において、取締役会が各取締役の職務内容・責任・権限・貢献度等を勘案して支給額を決定する。
- 取締役の基本報酬は、月例の金銭報酬とし、従業員給与の最高額、過去の同順位の取締役の支給実績、当社の業績見込み、取締役の報酬の世間相場、当社の業績等への貢献度、就任の事情、前年の報酬額、その他の考慮し、支給額を取締役ごとに定める。取締役全体の基本報酬の年間総額を取締役会が決議し、取締役会が代表取締役に決定を一任した場合は、個人別の報酬等について代表取締役がこれを決定する。
- 取締役に賞与を支給する場合は、個々の取締役の職責や職務執行状況等を基礎とし、経営環境等も踏まえ、当該取締役の貢献度を総合的に勘案して、取締役会が各取締役の支給額を決定する。取締役の賞与の総額を取締役会が決議し、取締役会が代表取締役に決定を一任した場合は、個人別の賞与について代表取締役がこれを決定する。

なお、現在、非金銭報酬の支給の予定はなく、その方針は定めておりません。
 取締役会は、取締役の個人別の報酬等について、報酬等の内容の決定方法及び決定された報酬等の内容が当該決定方針に沿うものであると判断しております。

② 当事業年度に係る報酬等の総額

区分	当事業年度に係る報酬等の総額		うち社外役員分	
	支給人員(名)	支給額(千円)	支給人員(名)	支給額(千円)
取締役	5	43,950	4	25,200
監査役	2	12,500	1	4,000
合 計	7	56,450	5	29,200

(注) 1. 上記の取締役の報酬等は、すべて基本報酬であります。当事業年度の取締役の個人別の報酬等については、支給人が数少であります、前年の報酬額を基礎に決定するため、当事業年度の取締役全体の年間総額を取締役会が決議し、取締役会が代表取締役社長朝倉智也に個人別の報酬等についての決定権限を一任し、代表取締役社長朝倉智也がこれを決定いたしました。
 2. 取締役および監査役の支給人員及び支給額には、当事業年度において在任した取締役および監査役のうち、無報酬の取締役1名および監査役1名は含んでおりません。
 3. 2000年3月21日開催の第4期定時株主総会決議による報酬限度額は、取締役年額500百万円以内、監査役年額100百万円以内であります。
 4. 上記3の株主総会決議時点における対象となる取締役の員数は5名（うち社外取締役は4名）、監査役の員数は2名（うち社外監査役は1名）となります。

(3) 重要な兼職の状況

氏名	会社名	役職名
朝倉智也	SBIホールディングス株式会社	取締役副社長
	SBIアセットマネジメントグループ株式会社	代表取締役社長
	SBIアセットマネジメント株式会社	代表取締役会長兼CEO
	ウエルスアドバイザー株式会社	代表取締役社長
	Carret Holdings, Inc.	Director
	SBIオルタナティブ・インベストメント・マネジメント株式会社	取締役
	SBIデジタルアセットホールディングス株式会社	代表取締役会長
	SBI地域事業承継投資株式会社	取締役
	SBIインシュアラנסグループ株式会社	取締役
	SBNエオファイナンシャルサービスーズ株式会社	取締役
	SBIクリプトアセットホールディングス株式会社	取締役
	SBI岡三アセットマネジメント株式会社	取締役
	SBIオルタナティブ・アセットマネジメント株式会社	取締役
	SBLレオスひふみ株式会社	取締役
	SBI-iManアセットマネジメント株式会社	取締役
	SBIホールディングス株式会社	代表取締役会長兼社長
	SBIアセットマネジメントグループ株式会社	取締役会長
	株式会社SBI証券	代表取締役会長
北尾吉孝	SBIインベストメント株式会社	代表取締役執行役員会長兼社長
	SBI Hong Kong Holdings Co., Limited	Representative Director
	SBIウェルネスバンク株式会社	代表取締役会長
	SBIファーマ株式会社	代表取締役執行役員社長
	SBI Cryptot株式会社	代表取締役会長
	SBI地域事業承継投資株式会社	代表取締役会長
	地方創生パートナーズ株式会社	代表取締役社長
	SBI金融経済研究所株式会社	代表取締役社長
	SBIPTSホールディングス株式会社	代表取締役会長
	大阪デジタルエクスチェンジ株式会社	代表取締役会長
	SBIキャピタルマネジメント株式会社	代表取締役社長
	SBIPERホールディングス株式会社	代表取締役
	SBIALFAファーマ株式会社	代表取締役
	SBIRIKUIDEITY・マーケット株式会社	取締役会長
	SBIファイナンシャルサービスーズ株式会社	取締役会長

氏名	会社名	役職名
大鶴基成	サン綜合法律事務所	客員弁護士
	アワロラ債権回収株式会社	社外取締役
	S B I インシュアランスグループ株式会社	社外監査役
	一般社団法人日本野球機構	調査委員長
ピリー・ウェード・ワイルダー	MATT.ER K.K	Senior Consultant & Chief Investment Officer
山澤光太郎	イオンフィナンシャルサービス株式会社	社外取締役
	ウイングアーク1st株式会社	社外取締役
	HiJoJo Partners株式会社	社外取締役
堀江明弘	株式会社グローバル・パートナーズ・コンサルティング	取締役
	S B I アセットマネジメント株式会社	監査役
	ウエルスアドバイザー株式会社	監査役
長野和郎	S B I オルタナティブ・インベストメント・マネジメント株式会社	監査役
	株式会社三友システムアプレイザル	社外監査役
	守山乳業株式会社	顧問
小竹正信	S B I インベストメント株式会社	監査役
	S B I ネオファイナンシャルサービスーズ株式会社	監査役
	S B I キャピタルマネジメント株式会社	監査役

(4) 社外役員に関する事項

① 他の法人等の業務執行者および社外役員等としての重要な兼職の状況および当該他の法人等との関係

社外役員の氏名	他の法人等の業務執行者および社外役員等の兼職の状況	
取締役 大鶴基成	サン綜合法律事務所	客員弁護士
	アウロラ債権回収株式会社	社外取締役
	SBIインシュアラ NS グループ株式会社	社外監査役
取締役 ビリー・ウェード・ワイルダー	MATT.ER K.K	Senior Consultant & Chief Investment Officer
取締役 山澤光太郎	イオンフィナンシャルサービス株式会社	社外取締役
	ウイングアーク1st株式会社	社外取締役
	HiJoJo Partners株式会社	社外取締役
監査役 長野和郎	株式会社三友システムアプレイザル	社外監査役
	守山乳業株式会社	顧問
監査役 小竹正信	SBIインベストメント株式会社	監査役
	SBIネオファイナンシャルサービスーズ株式会社	監査役
	SBIキャピタルマネジメント株式会社	監査役

(注) SBIインシュアラ NS グループ株式会社、SBIインベストメント株式会社、SBIネオファイナンシャルサービスーズ株式会社およびSBIキャピタルマネジメント株式会社は、当社の親会社であるSBIホールディングス株式会社の子会社であります。その他、社外役員の上記の兼職先と当社の間には、特段の関係はありません。

② 当社または当社の主要取引先等特定関係事業者の業務執行取締役等との親族関係 該当事項はありません。

③ 社外役員が当社の親会社または当社の親会社の子会社（当社を除く）から受けた役員報酬等の額

社外取締役および社外監査役が、役員を兼任する当社の親会社または当社の親会社の子会社（当社を除く）から当事業年度に役員として受けた報酬等の総額は11,600千円であります。

④ 当事業年度における主な活動状況

1) 取締役会および監査役会への出席状況および発言状況等

活動状況	
社外取締役 大鶴基成	当事業年度開催の取締役会12回のすべてに出席し、社外取締役として、取締役会決議に参加いたしました。また、議案について主に法律的な観点から所見を述べ、そのほか適宜必要な発言を行ないました。
社外取締役 ビリー・ウェード・ワイルダー	当事業年度開催の取締役会12回のすべてに出席し、社外取締役として、取締役会決議に参加いたしました。また、議案について主にアセットマネジメントの観点から所見を述べ、そのほか適宜必要な発言を行ないました。
社外取締役 山澤 光太郎	当事業年度開催の取締役会12回のすべてに出席し、社外取締役として、取締役会決議に参加いたしました。また、議案について主にアセットマネジメントの観点から所見を述べ、そのほか適宜必要な発言を行ないました。
社外取締役 堀江 明弘	当事業年度開催の取締役会12回のすべてに出席し、社外取締役として、取締役会決議に参加いたしました。また、議案について主に経理・管理業務の観点から所見を述べ、そのほか適宜必要な発言を行ないました。
社外監査役 長野和郎	当事業年度開催の取締役会12回中11回に出席し、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行ないました。また、当事業年度開催の監査役会12回のすべてに出席し、適宜必要な発言を行ないました。
社外監査役 小竹正信	当事業年度開催の取締役会12回のすべてに出席し、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行ないました。また、当事業年度開催の監査役会12回のすべてに出席し、適宜必要な発言を行ないました。

2) 社外役員の意見により変更された事業方針等

該当事項はありません。

3) 当社の不祥事に関する対応の概要

該当事項はありません。

⑤ 責任限定契約の内容の概要

当社と各社外役員は、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、100万円または法令に定める最低責任限度額のいずれか高い額となります。

連結計算書類

■連結貸借対照表

科目	第28期 2025年3月31日現在	科目	第28期 2025年3月31日現在
資産の部		負債の部	
流動資産	7,187,711	流動負債	2,743,751
現金及び預金	4,008,192	買掛金	20,467
売掛金	2,606,942	未払金	1,445,762
棚卸資産	1,868	短期リース債務	71,332
未収入金	176,517	未払法人税等	573,591
その他	394,189	未払消費税等	140,710
固定資産	11,070,683	その他	491,888
有形固定資産	268,463	固定負債	104,534
建物附属設備	72,470	長期リース債務	104,534
工具、器具及び備品	20,127	負債合計	2,848,285
使用権資産	175,866	純資産の部	
無形固定資産	2,414,784	株主資本	15,607,984
のれん	1,625,593	資本金	3,363,635
ソフトウェア	780,282	資本剰余金	4,528,571
その他	8,907	利益剰余金	7,715,801
投資その他の資産	8,387,435	自己株式	△23
投資有価証券	7,702,904	その他の包括利益累計額	△365,436
繰延税金資産	559,984	その他有価証券評価差額金	△947,536
その他	124,545	為替換算調整勘定	582,100
繰延資産	247	非支配株主持分	167,809
株式交付費	247	純資産合計	15,410,356
資産合計	18,258,642	負債・純資産合計	18,258,642

■連結損益計算書

(単位：千円)

科目	第28期 2024年4月1日から 2025年3月31日まで
売上高	11,568,990
売上原価	5,870,993
売上総利益	5,697,997
販売費及び一般管理費	3,428,722
営業利益	2,269,274
営業外収益	297,888
受取利息	121,136
受取配当金	123,188
投資有価証券売却益	49,100
その他	4,462
営業外費用	1,668
株式交付費	1,384
その他	283
経常利益	2,565,494
特別損失	522
投資有価証券評価損	522
税金等調整前当期純利益	2,564,971
法人税、住民税及び事業税	869,043
法人税等調整額	25,603
当期純利益	1,670,325
非支配株主に帰属する当期純利益	23,389
親会社株主に帰属する当期純利益	1,646,935

株主総会参考書類

第1号議案 取締役5名選任の件

現任取締役6名全員が、本定時株主総会終結の時をもって任期満了となります。

引き続きプライム市場上場企業に相応しいコーポレート・ガバナンス体制とするため、独立社外取締役候補者3名を含む5名の取締役選任をお願いするものであります。

取締役候補者は、次のとおりであります。

候補者番号	氏名	現在の当社における地位・担当
1	あさ くら とも や 朝 倉 智 也	代表取締役 再任
2	きた お よし たか 北 尾 吉 孝	取締役 再任
3	Billy Wade Wilder ビリー・ウェード・ワイルダー	社外取締役 再任 独立 社外
4	やま ざわ こう た ろう 山 澤 光 太 郎	社外取締役 再任 独立 社外
5	ほり え あき ひろ 堀 江 明 弘	社外取締役 再任 独立 社外

1. 朝倉 智也

(1966年3月16日生) 所有する当社の株式数 378,400株

再任

略歴、当社における地位および担当

1989年 4月 (株)北海道拓殖銀行 入社
1995年 6月 ソフトバンク(株) (現ソフトバンクグループ(株)) 入社
1998年11月 当社 入社
2000年 3月 当社 取締役
2004年 7月 当社 代表取締役社長
2005年12月 当社 代表取締役執行役員COO
2007年 6月 SBIホールディングス(株) 取締役執行役員
2012年 6月 SBIホールディングス(株) 取締役執行役員常務

2012年 7月 当社 代表取締役社長 (現任)
2013年 6月 SBIホールディングス(株) 取締役執行役員専務
2018年 6月 SBIホールディングス(株) 専務取締役
2019年 2月 Carret Holdings, Inc. Director (現任)
2022年 7月 SBIホールディングス(株) 取締役副社長 (現任)
2023年 3月 ウエルスアドバイザー(株) 代表取締役 (現任)
2023年 6月 SBIアセットマネジメント(株) 代表取締役会長兼CEO (現任)
2023年 6月 SBIアセットマネジメントグループ(株) 代表取締役社長(現任)

重要な兼職の状況

SBIホールディングス株式会社	取締役副社長	SBI インシュアラنسグループ株式会社	取締役
SBIアセットマネジメントグループ株式会社	代表取締役社長	SBI ネオファイナンシャルサービス株式会社	取締役
SBIアセットマネジメント株式会社	代表取締役会長兼CEO	SBIクリプトアセットホールディングス株式会社	取締役
ウエルスアドバイザー株式会社	代表取締役社長	SBI 岡三アセットマネジメント株式会社	取締役
Carret Holdings, Inc.	Director	SBI オルタナティブ・アセットマネジメント株式会社	取締役
SBI オルタナティブ・インベストメント・マネジメント株式会社	取締役	SBI レオスひふみ株式会社	取締役
SBIデジタルアセットホールディングス株式会社	代表取締役会長	SBI -Manアセットマネジメント株式会社	取締役
SBI 地域事業承継投資株式会社	取締役		

取締役候補者とした理由

朝倉智也氏は、投資信託ほか金融商品に関する卓越した見識と豊富な経験を有し、当社設立時から事業の中心人物として活動してきました。2004年7月からは代表取締役として優れた経営手腕を発揮し、当社グループの強固な事業基盤を築いてまいりました。また、経営全般に関する幅広い見識と豊富な経験を有し、今後も、当企業グループの持続的な企業価値向上に必要不可欠であると判断したため、引き続き同氏を取締役候補者といたしました。

2. 北尾 吉孝

（1951年1月21日生） 所有する当社の株式数 183,200株

再任

略歴、当社における地位および担当

1974年 4月	野村證券(株) 入社	2006年 3月	当社取締役執行役員CEO
1995年 6月	ソフトバンク(株) (現ソフトバンクグループ(株)) 常務取締役	2012年 6月	SBIホールディングス(株) 代表取締役執行役員社長
1998年 4月	当社代表取締役社長	2012年 7月	当社取締役 (現任)
1999年 7月	ソフトバンク・インベストメント(株) (現 SBIホールディングス(株)) 代表取締役社長	2018年 6月	SBIホールディングス(株) 代表取締役社長
		2022年 7月	SBIホールディングス(株) 代表取締役会長兼社長 (現任)

重要な兼職の状況

SBIホールディングス株式会社	代表取締役会長兼社長	地方創生パートナーズ株式会社	代表取締役社長
SBIアセットマネジメントグループ株式会社	取締役会長	SBI金融経済研究所株式会社	代表取締役社長
株式会社 SBI証券	代表取締役会長	SBI PTSホールディングス株式会社	代表取締役会長
SBIインベストメント株式会社	代表取締役執行役員会長兼社長	大阪デジタルエクスチェンジ株式会社	代表取締役会長
SBI Hong Kong Holdings Co., Limited	Representative Director	SBIキャピタルマネジメント株式会社	代表取締役社長
SBIウェルネスバンク株式会社	代表取締役会長	SBI P Eホールディングス株式会社	代表取締役
SBIファーマ株式会社	代表取締役執行役員社長	SBI A L A ファーマ株式会社	代表取締役
SBI Crypto株式会社	代表取締役会長	SBIリクイディティ・マーケット株式会社	取締役会長
SBI地域事業承継投資株式会社	代表取締役会長	SBIファイナンシャルサービスーズ株式会社	取締役会長

取締役候補者とした理由

北尾吉孝氏は、当社の親会社であるSBIホールディングス株式会社の代表取締役会長兼社長として卓越した経営手腕を発揮し、証券・銀行・保険と広範囲にわたる金融サービス事業において、インターネット金融を中心とした金融コングロマリットを構築したほか、国内外に展開するアセットマネジメント事業やバイオ関連事業を牽引するなどSBIグループの強固な事業基盤を築いてまいりました。また、金融に関する深い知識と実務経験および社外の幅広い人脈を持っており、当社の経営に対して総合的な助言をいただいております。今後も、当企業グループの持続的な企業価値向上に必要不可欠であると判断したため、引き続き同氏を取締役候補者といたしました。

3. Billy Wade Wilder (1950年2月6日生)

所有する当社の株式数 ー株

再任

独立

社外

略歴、当社における地位および担当

1986年 4月	シユローダー証券会社	日本株調査部長	2014年 9月	MATT.ER K.K., Senior Consultant
1992年12月	フィデリティ投信(株)	入社		& Chief Investment Officer (現任)
1995年 9月	同社	代表取締役社長	2016年 4月	マネックスグループ(株) 社外取締役
2004年 7月	日興アセットマネジメント(株)	代表取締役社長	2016年 4月	Prospect Co., Advisor
2014年 1月	GIC証券(株) (現Gキャピタル・マネジメント(株))	取締役	2019年 6月	当社 社外取締役(現任)

重要な兼職の状況

MATT.ER K.K Senior Consultant & Chief Investment Officer

社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要

ビリー・ウェード・ワイルダー氏は、30年以上にわたる国内の資産運用会社での業務、経営経験があり、日本の資産運用業について豊富な知識と経験を有しています。また、上場企業の社外取締役の経験もあります。アセットマネジメント事業を中心当社の経営に対する監督や経営全般に係る助言を受けることにより、コーポレート・ガバナンスの一層の強化・充実を図ることができるものと判断し、そのような役割を果たすことを期待して、引き続き社外取締役候補者とするものであります。

4. 山澤 光太郎 (1956年10月8日生)

所有する当社の株式数 ー株

再任

独立

社外

略歴、当社における地位および担当

1980年 4月	日本銀行	入行	2017年 6月	株式会社東京商品取引所	社外取締役
1998年 5月	同行大阪支店	営業課長	2018年 9月	ウイングアーク 1 s t 株式会社	社外監査役
2000年 7月	同行人事局	人事課長	2019年 6月	イオンフィナンシャルサービス株式会社	
2004年 3月	同行函館支店長			社外取締役 (現任)	
2010年 4月	株式会社大阪証券取引所	取締役常務執行役員	2019年11月	ウイングアーク 1 s t 株式会社	
2013年 1月	株式会社日本取引所グループ	常務執行役		社外取締役 (現任)	
2014年 6月	株式会社日本取引所グループ	専務執行役	2020年 5月	HiJoJo Partners株式会社	社外取締役 (現任)
	株式会社大阪証券取引所	取締役専務執行役員	2021年 7月	株式会社アグリメディア	常勤監査役
2015年 4月	株式会社大阪取引所	取締役副社長	2022年 6月	当社	社外取締役 (現任)
2017年 6月	イオンフィナンシャルサービス株式会社	社外監査役			

重要な兼職の状況

イオンフィナンシャルサービス株式会社 社外取締役
ウイングアーク 1 s t 株式会社 社外取締役

HiJoJo Partners株式会社

社外取締役

社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要

山澤光太郎氏は、日本銀行、大阪取引所で金融や証券業務に関する豊かな経験と知識を培っており、また、その経営者として深い見識を活かして、アセットマネジメント事業を中心に当社の経営に対する監督や経営全般に係る助言を受けることにより、コンプライアンスの一層の強化・充実を図ができるものと判断し、そのような役割を果たすことを期待して、社外取締役候補者とするものであります。

5. 堀江 明弘

(1959年11月3日生) 所有する当社の株式数 - 株

再任

独立

社外

略歴、当社における地位および担当

1989年10月	太田昭和監査法人 (現EY新日本有限責任監査法人)	入所	2008年 4月	株式会社グローバル・パートナーズ・コンサルティング 取締役 (現任)
1993年 4月	公認会計士登録		2016年 6月	株式会社ツクイスタッフ 社外監査役
2002年 7月	税理士法人ブレイン総合会計 代表社員		2018年 6月	同社 社外取締役 (監査等委員)
2006年12月	株式会社パートナーズ・ホールディングス 取締役		2022年 6月	当社 社外取締役 (現任)

重要な兼職の状況

株式会社グローバル・パートナーズ・コンサルティング 取締役

社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要

堀江明弘氏は、公認会計士、税理士として培った会計・税務・監査についての豊富な知識と経験を有しており、経理・管理業務を中心に当社の経営に対する監督や経営全般に係る助言を受けることにより、コーポレート・ガバナンスの一層の強化・充実を図ることができるものと判断し、そのような役割を果たすことを期待して、社外取締役候補者とするものであります。

第2号議案 監査役3名選任の件

現任監査役3名全員が、本定期株主総会終結の時をもって任期満了となりますので、常勤監査役1名と社外監査役候補者2名の計3名の選任をお願いするものであります。監査役候補者は、次のとおりです。

なお、本議案の提出につきましては、あらかじめ監査役会の同意を得ております。

候補者番号	氏名	現在の当社における地位
1	ごとくあつお 後藤淳夫	常勤監査役 再任
2	ながのかずお 長野和郎	社外監査役 再任 独立 社外
3	こたけまさのぶ 小竹正信	社外監査役 再任 独立 社外

1. ごとくあつお
後藤淳夫

(1960年7月23日生)

所有する当社の株式数 一株

再任

略歴、当社における地位

1983年 4月	大和投信販売(株) 入社	2017年 1月	いちよしアセットマネジメント(株) コンプライアンス部部長
1987年10月	ユニバーサル投信(株)業務管理部	2018年 4月	S B I アセットマネジメント(株) コンプライアンスオフィサー
2000年 1月	パートナーズ投信(株)業務管理部	2018年10月	S B I 地方創生アセットマネジメント(株) コンプライアンス部長
2003年 9月	ニッセイアセットマネジメント(株) 法務コンプライアンス部	2020年 1月	当社内部監査室長
2005年 7月	ユナイテッド投信(株) コンプライアンス部長、内部監査部長	2021年 6月	当社常勤監査役 (現任) S B I アセットマネジメント(株) 監査役 (現任)
2007年 9月	新生インベストメントマネジメント(株)(現当社) 法務コンプライアンス部長、内部監査担当	2023年 3月	S B I アセットマネジメント・グループ監査役 ウエルスアドバイザー(株) 監査役 (現任)
2014年10月	ちばぎんアセットマネジメント(株) コンプライアンス部長		
2016年 4月	オリックス銀行(株)アセットマネジメント事業準備室 コンプライアンス部長		

重要な兼職の状況

S B I アセットマネジメント株式会社

監査役

ウエルスアドバイザー株式会社

監査役

監査役候補者とした理由

後藤淳夫氏は、アセットマネジメント事業に関する実務経験と知識が豊富であり、当社の子会社を含むアセットマネジメント事業各社で、コンプライアンスに関する責任者を務めてきました。また、内部監査についての実務経験も豊富であります。その実務経験と知識を活かして、専門的観点及び当社グループへの理解の観点から当社グループの適切な業務運営の検証に充分な役割を果たしていただけるものと判断しており、引き続き、同氏を監査役候補者といたしました。

2. 長野 和郎

(1952年8月7日生)

所有する当社の株式数 ー株

再任

独立

社外

略歴、当社における地位

1975年 4月 (株)富士銀行(現(株)みずほ銀行) 入行
2002年 4月 (株)みずほコーポレート銀行
(現(株)みずほ銀行) 大手町営業第五部長
2004年 4月 同行 執行役員大手町営業第五部長
2005年 4月 同行 執行役員営業第一七部長
(株)みずほフィナンシャルグループ 理事

2005年10月 (株)みずほプライベートウェルス マネジメント
取締役副社長
2009年 6月 日油(株) 取締役兼執行役員
2011年 6月 同社 取締役兼常務執行役員
2016年 6月 (株)ニチレイ 社外監査役
(株)オーバル 社外取締役
2017年 6月 当社 社外監査役 (現任)

重要な兼職の状況

株式会社三友システムアプレイザル

社外監査役

守山乳業株式会社

顧問

社外監査役候補者とした理由

長野和郎氏は、金融機関で培ってきた金融に関する豊かな経験と知識を有しており、また、金融機関や製造業における企業経営者として豊富な経験と見識を活かして、客観的・中立的観点から当社の経営の監督に充分な役割を果たしていただけるものと判断したため、引き続き同氏を社外監査役候補者といたしました。

3. 小竹 正信

(1955年2月23日生)

所有する当社の株式数 ー株

再任

独立

社外

略歴、当社における地位

1978年 4月 (株)富士銀行(現(株)みずほ銀行) 入行
1996年 5月 同行 資金部次長
1999年 5月 同行 飯田橋支店長
2002年 4月 (株)みずほコーポレート銀行
(現(株)みずほ銀行) 公共法人部部長
2004年 4月 (株)みずほ銀行 京都支店長
2006年 7月 六花亭製菓(株) 常務取締役
2011年12月 (株)ゆうちょ銀行 本社営業部門
営業企画部担当部長
2012年 4月 同行 本社営業部門営業推進部法人営業室長
2012年 6月 同行 本社営業部門営業推進部法人営業室長 兼
東京エリア本部副本部長 (営業担当)

2014年 4月 みずほローンエキスパート(株) 常勤監査役
(株)みずほ銀行個人リテンション推進部参事役
2017年 1月 当社 社外監査役 (現任)
2017年 6月 SBIジャパンネクスト証券(株)
(現 ジャパンネクスト証券(株)) 社外監査役
2017年 6月 (株)ニコーン・ファンド・コマーティング
(現 (株)NFCホールディングス) 社外監査役
2017年 8月 SBIプライム証券(株) 監査役
2022年 6月 SBIインベストメント(株) 監査役 (現任)
2022年 6月 SBIネオファイナンシャルサービス(株)
監査役 (現任)
2023年 6月 SBIキャピタルマネジメント(株) 監査役 (現任)

重要な兼職の状況

SBIインベストメント株式会社

監査役

SBIキャピタルマネジメント株式会社 監査役

SBIネオファイナンシャルサービス(株)会社

監査役

社外監査役候補者とした理由

小竹正信氏は、金融ビジネスの実務や金融商品などについて幅広い知識と経験を有しており、また、監査役としての経験も豊富であります。その経験を通じて培ってきた見識を活かして、当社の経営の監督に充分な役割を果たしていただけるものと判断したため、引き続き同氏を社外監査役候補者といたしました。

第3号議案 補欠監査役1名選任の件

法令に定める監査役の員数を欠くことになる場合に備え、会社法第329条第3項の規定に基づき、補欠の社外監査役1名を選任することをお願いするものであります。

なお、本議案に関しましては、あらかじめ監査役会の同意を得ております。

補欠の監査役候補者は次のとおりであります。

かみ やま とし ゆき
神山 敏之

(1953年10月28日生) 所有する当社の株式数 一株

独立

社外

略歴

1978年 4月	(株)富士銀行(現(株)みずほ銀行) 入社	2010年 4月	Philippine National Bank 東京支店長兼在日代表
2001年 5月	同行 資金部長	2013年 4月	SBIバイオテック(株) 常勤監査役
2002年 4月	(株)みずほコーポレート銀行 (現(株)みずほ銀行) 市場企画部欧洲資金室長	2016年 6月	当社補欠監査役 (現在に至る)
2004年 4月	(株)みずほ銀行 市場営業部長	2017年 3月	SBI少額保険ホールディングス(株)監査役 SBIインシュアラ NSグループ(株) 常勤監査役 (現任)
2007年 7月	みずほインベスタート証券(株) (現みずほ証券(株)) 執行役員(金融商品開発部 担当、債券部・営業企画部副担当)		

重要な兼職の状況

SBIインシュアラ NSグループ株式会社 常勤監査役

補欠の社外監査役候補者とした理由

神山敏之氏は、長年にわたり金融および企業経営に関する経験を積み重ね、豊富な経験と幅広い見識を有しております、当社の経営の監督に充分な役割を果たしていただけるものと判断し、補欠の社外監査役として選任をお願いするものであります。

以上

定時株主総会会場ご案内図

会場 パレスホテル東京 4階 山吹
東京都千代田区丸の内一丁目1番1号 TEL 03-3211-5211

交通 JR 「東京駅」丸の内北口より徒歩約8分
地下鉄 「大手町駅」C13b出口より地下通路直結



※駐車場の用意はいたしておりませんので、お車での来場はご遠慮くださいますようお願い申しあげます。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。